



[<トップページへ>](#)

= 東北 =

<a href="#">宮城</a>	<a href="#">青森</a>
<a href="#">岩手</a>	<a href="#">秋田</a>
<a href="#">山形</a>	<a href="#">福島</a>
<a href="#">広域</a>	<a href="#">分野別</a>

= 内外 =

<a href="#">一覧</a>	<a href="#">政治・行政</a>
<a href="#">経済</a>	<a href="#">株・為替</a>
<a href="#">国際</a>	<a href="#">社会</a>
<a href="#">スポーツ</a>	<a href="#">文化・芸能</a>
<a href="#">科学・環境</a>	<a href="#">IT</a>
<a href="#">暮らし・話題</a>	<a href="#">訃報</a>
<a href="#">新商品</a>	<a href="#">予定</a>
<a href="#">詳細</a>	

[News Access](#)

ランキングをリアルタイムで表示中

[JWN](#)

ブロック紙など8社の共通WEB

[今日のニッポン](#)

地方紙39社の共通WEB

[AREA21](#)

河北、日経など15紙の共同サイト

[トップページ](#) [ニュース一覧](#)

## 登録有形文化財 東北は気仙沼・武山米穀店も 文化審答申



武山米穀店



森長旅館本館

文化審議会(高階秀爾会長)は10日、スコットランドの中世城郭をイメージしたとされるニッカウヰスキー北海道工場事務所棟(北海道余市町)など199件を、近代建築物の保護を目的とする有形文化財(建造物)に登録するよう、中山成彬文部科学相に答申した。これで登録有形文化財は4619件となる。

文化審議会の答申に、東北からは武山米穀店店舗および主屋(宮城県気仙沼市)、森長旅館本館など3件(秋田県男鹿市)、佐藤又六家住宅主屋、文庫蔵(秋田県増田町)、赤川家住宅蔵(同大森町)が選ばれた。

< 石蔵ある店舗住宅／武山米穀店(気仙沼市) >

1930年に建てられた木造2階の店舗兼住宅で、敷地面積約140平方メートル。店舗と主屋の2件。奥に行くほど狭くなる扇形で、部屋の隅は東側が鈍角、西側が鋭角になっている。中心には石蔵もある。建築当時、近所に旧市場があり、周辺は建物が密集していた。このため、狭い敷地を最大限生かそうと工夫された。昭和初期の気仙沼市の建物の特徴を今に伝えている。

< 洋風の外観が特徴／森長旅館(男鹿市) >

昭和初期の創業とされ、往事の船川港のにぎわいを伝える。本館、離れ、土蔵の3件。1934年に造られた木造2階の本館は寄せ棟(一部切り妻)造り、鉄板ぶき。洋風の外観はモルタル仕上げの壁に胴蛇腹と軒蛇腹を配し、上げ下げ窓になっている。正面にはむくり屋根形式の玄関ポーチがあり、妻飾りはコウモリがモチーフとなっている。

< 化粧ばりを重ねる／佐藤又六家住宅(秋田県増田町) >

佐藤家は増田銀行(現北都銀行)創業時の取締役を務め、増田の発展に寄与した旧家。明治初期に造られた主屋、文庫蔵の2件。一部2階の主屋は、さやで覆われた奥行きある土蔵造りの妻入り町家。正面妻上部は化粧ばりを重ね、3本のはり首をびじ木で飾るなど、外観に特色がある。内部は街路側を店舗として改造しているほかは、往事の姿をとどめている。

< 北面に重厚な戸口／赤川家住宅蔵(秋田県大森町) >

赤川家はかつて大森町有数の地主。2階建ての土蔵は1885年に米蔵として造られ、明治後期に改造。現在ま町の多目的ホールとして活用されている。れんが積みの外壁は明治後期に改修。屋根の下にある鉢巻の下端と胴蛇腹にれんがの歯飾りが施されるなど、変化に富む。内部は白っぽい塗りの壁に石敷きで、北面に重厚な黒っぽい塗りの戸口がある。

2004年12月10日 金曜日